

第4回

武蔵野市立第一中学校改築懇談会

令和2年9月28日

於 武蔵野市立第一中学校 視聴覚室

武蔵野市教育委員会

第4回 武蔵野市立第一中学校改築懇談会

○令和2年9月28日（月曜日）

○出席委員

中嶋座長 清水副座長 磯川委員 伊東委員 檜原委員 鈴木委員 坪井委員
富岡委員 長嶋委員 日名子委員 平田委員 本郷委員 三原委員

○事務局出席者

西館教育企画課学校施設担当課長 渡邊教育企画課長 木村副参事 深見課長補佐兼財
務係学校改築担当係長事務取扱 関主査 藤野主事 渡邊主事

○進行

1. 議事

- (1). 基本方針、整備方針について
- (2). 建物配置について②

2. 報告事項

- (1). 第一中学校改築基本計画素案への意見募集について

◎事務局挨拶

◎議事(1) 基本方針、整備方針について

○座長 議事1基本方針、整備方針について、事務局より、説明をお願いします。

○事務局 それでは資料2をご覧ください。1基本方針、2整備方針についてです。前回の指摘を受けて変更した部分がありますので、説明します。

まず基本方針について、二番目と三番目を修正しています。

二番目は、地域のシンボルを、地域の拠点という文言に変更し、地域の拠点として、様々な交流連携を育む学校としました。

三番目は、ラーニングコモンズに象徴される改築後の学校が目指す教育の形態をより具体的に示すために、探求的かつ協働的な学びの充実にし、「知・徳・体」をバランスよく育み、探求的かつ協働的な学びの充実に資することができる施設という形にしました。

続いて整備方針について、(1)②ラーニングコモンズの部分です。主体的な学習活動を支援する場として、従来の学校図書館、ICT学習室、多目的室をラーニングコモンズとして一体的に整備します、という形にしました。そして少人数による自習や調べ学習から、多人数による発表も含めた協働学習等、多様な学習形態に対応し、また生徒にとって身近な場となるような配置とします、と変更しました。

(4)避難所について、屋根付きの駐輪場を整備し、災害時にはペット避難スペースとして活用できるようにします、という形に変更しました。

基本方針と整備方針については、本日で確定したいと思います。

この辺りの内容を踏まえて、来年から基本設計に入ります。また来年懇談会がありますので、その時に何か意見があれば、いただければと思います。

◎議事(2) 建物配置について②

○座長 次に議事の2、建物配置についてです。

○事務局 建物の配置については、資料3から6をご用意ください。

まず、資料3第一中学校の配置計画案ですが、基本的に前回提示したものと大きく変更はないのですが、中段に工事中の校庭、小・中共用時の校庭、工事中の体育館、小・中共用時の体育館、工事中のプール、小・中共用時のプールを追記しています。

資料4は、上から新校舎建設工事時、中段が小・中学校同時利用時、一番下が最終完成時ということで、各案にそれぞれの段階において、校庭がどの程度使えるかを示したものになります。緑色で示した所が、校庭として利用可能な部分と表現しています。

資料3の工事中の校庭について、北案は工事中比較的確保できる。南案はやや狭い。東案についても狭い。西案は比較的確保できる。

小・中共用時の校庭は、北案と南案は比較的確保できる。東案は、面積は確保できるが、不整形である。西案は、十分確保できると考えています。

工事中の体育館です。北案と西案は外部施設利用となります。南案と東案は、既存体育館の利用が可能です。

小・中共用時の体育館です。北案と西案は新体育館が完成していますので、小・中が共用する形になります。南案と東案は、新体育館、旧体育館を使い分けることが可能です。

工事中のプールです。北案と西案は利用できません。南案と東案は既存体育館解体時を除いて、利用が可能です。

小・中共用時のプールについて、全ての案で利用が可能です。資料3と4の説明は以上になります。

続いて資料5をご覧ください。第3回懇談会での意見と、近隣アンケートの意見をまとめています。近隣アンケートについては資料6と被りますので、資料5では第3回懇談会の皆様の意見を説明します。

北案について、肯定的な事項として、校舎と音楽室が近い。現状と同じアプローチ。近隣への影響が少ない。周辺の影響を考えると、馴染むのは北案か西案ではないか、という意見でした。懸念事項として、プールがマンションから見えてしまう。目隠しが必要。仮設校舎はない方が良いというご意見でした。

南案の肯定的な事項として、仮設校舎はない方が良い。懸念事項として、既存校舎の小学生利用は課題がある。近隣への音の影響が懸念される。校庭に降った雪が溶けにくい、という意見がありました。

東案は、肯定的な事項については特に意見がありません。懸念事項は、既存校舎の小学生利用は課題がある。そして近隣への音の影響が懸念される、という意見でした。

西案について、肯定的な意見として、仮設校舎はない方が良い。西校舎案がとても良いと思う。夏の夕方、校庭に日影ができる、部活動に良い。周辺の影響を考えると、馴染むのは北案か西案、という意見でした。懸念事項としては、プールが南側のマンションから見えてしまう。目隠しが必要。既存校舎の小学生利用は課題がある、ということで既存校舎の小学生利用について、北案の仮設校舎を作る以外は同じような意見がありました。

次に資料6をご覧ください。近隣アンケート調査結果で、第一中学校については対象者数が889名、回答者数が204名、回答率が約23%という結果でした。

設問1、居住環境で重視している項目については、多い順に安全性、陽当たり、静けさの順でした。第五中学校では、静けさという意見が多かったのですが、第一中学校については安全性という意見が非常に多かったという結果です。

設問3の新しい一中に望むことでは、一位は多様な教育活動、二位は避難所機能の充実、三位に安全防犯機能の充実という結果でした。

設問4、5の困っていることについて、校庭からの砂埃、学校授業、部活動などの音が多かったという結果です。

設問6、配置計画案への意見です。北案は賛成が47%、反対が4%、その他が49%という結果です。南案は賛成が5%、反対が38%、その他が57%という結果です。東案は賛成が3%、反対が29%、その他が68%。西案は賛成が16%。反対が12%、その他が72%という結果でした。

各案の賛成・反対について何点か説明します。北配置案の賛成理由は、今の環境を維持して欲しい。校庭が南向きで開放的である。完成が早い、という意見がありました。反対理由は、テニスコートの音、仮設校舎に掛かるコスト。教育環境への影響。耐震性の不安。テニスコートの外周フェンスによる北側への日照の影響、という意見がありました。

南案の賛成理由は、校庭が広くなる。仮設校舎の必要が無い、という意見です。反対理由は、南側マンションへの圧迫感、視線の影響（資産価値に影響）。校庭からの北側への砂埃。大正通りの街並み、景観を損ねる。完成時期が遅い、という意見がありました。

東案の賛成理由は西に校庭、グラウンドがまとまり、周辺から学生の活動が見えやすくなるという意見がありました。反対理由としては、東側住宅地への日影、風通し、騒音、視線の影響。北側への圧迫感。大正通りへの校舎の圧迫感。西側への砂埃の影響。完成時期が遅い、等がありました。

西案の賛成理由は、今の環境に比較的近い。北側校舎配置の次に良い。仮設校舎がなく、工期も短い、という意見です。反対理由としては、校庭の騒音が北側に直接響いてくる。北側マンションへの砂埃、騒音。東側住宅地への騒音。南側への圧迫感。教室への採光。校舎で体育館と校庭が分断されてしまう、という意見がありました。

その他、北案と西案は、テニスコートの防音対策をしてほしい、プールについてはマンションの上層階から覗かれないよう目隠しをしてほしいという意見がありました。南案と東案は、テニスコートの音については対策をしてほしいという意見がありました。

テニスコートについては、地域開放で土日を使うということで、朝から夕方までずっと音がしているというのは近隣にとって影響が大きいと思っていますので、どの案でもテニスコート、プールの付属施設については、位置を変更することもあり得るとご理解ください。

アンケート結果を事務局で分析し、南案と東案は周辺のマンションからかなり強い反対もありましたので、改築後の学校運営も考慮するとこの2案は除外したいと思います。北案と西案は、賛成数だけを見ると北案が西案の三倍という結果にはなっていますが、その他のアンケート上未記入で、賛成、反対の表明が無いものを足して比較すると、北案は賛成とその他で196名の96%、西案は179名の88%で、かなり近付くという結果になります。

最後に西案と北案それぞれのメリット、デメリットについて説明します。

北案の最大のメリットは、周辺環境の賛同が得やすいこと、近隣からの反対意見が少ないことかと思えます。また、井之頭小学校の建替えの際には、新たに作る仮設校舎を利用しますので、仮設校舎は小学生仕様で建設が可能というメリットがあります。

デメリットとしては、令和4年2月には仮設校舎建設に着手しないと竣工に間に合わない関係で、着工が早まります。来年度の後半ですので、在校生への影響が大きく、仮設校舎への引越しと新校舎への引越しと、二回の引越しの手間があります。また、仮設校舎のコストが挙げられます。

西案についてのメリットは仮設校舎が無いということで、中学生については工事期間中も今の校舎で生活しながら建替えができます。配置計画案を見ていただきますと、北校舎案は長方形で横に長く、西校舎案については若干正方形に近いということで、建築の平面プラン上西案の方が優位かと思えます。

デメリットとしては、校庭が直接北側マンションに面しますので、砂埃、騒音の影響が大きいと思えます。また、南側マンションへの圧迫感などの理由から、反対意見が寄せられる可能性もあり得ます。また、井之頭小学校の児童が第一中学校の既存校舎を利用するにあたり、市で責任を持って、怪我を絶対にさせないように、安全な形での改修工事が必要になります。

前回提示できなかった画像を用意していますのでご覧ください。一点目が、仮設校舎です。大野田小学校のものが過去にありましたので、仮設校舎のイメージをご覧ください。

次にプールです。近隣マンションから覗けないようにとの意見を頂きました。プールを使う時だけ引っ張り出すカーテンみたいなもので対応していきたいと思っています。

○委員 仮設校舎を造った時、学童はどうなるのですか。

○事務局 学童については、最終決定ではありませんが、敷地内に造るのは難しいので、近隣で場所を探しています。

○委員 今回のアンケートで対象が889名で回答者が204名、回答率が23%、この人数をどう捉えていますか。多かったのか、少なかったのか。

○事務局 統計は取っていませんが、それ程回答率は高くないというのが正直なところで、事務局の想定としても、大体見込んでいた数字です。

本当はもう少し皆様からご意見を頂きたかったというところはあるのですが、学校に面している方からは、それなりに回答を頂けたのかなと思っています。

○座長 五中の回答率はどの程度ですか。

○事務局 第五中学校は対象者が120名、回答者27名、回答率が22.5%ですので、ほぼ同率です。やはり近隣の学校に接している方の回答がかなり多かったという結果です。

○委員 回答者が、地域で分かるのですか。

○事務局 アンケートを頂く時に、分かるような形で実施しました。

○委員 例えば、東側に住んでいる方は東案が嫌だとか、南側に住んでいる方は、南案は嫌だとか、長く住まれている方は現状案が良いとか、そういうことがあったということでしょうか。

○事務局 五中と比較しますと、在住年数が浅い回答者が多かったという結果があります。南側については、まだ完成して間もない建物ですので在住年数が短い方が多かったと

ということですね。北側については、十年以上居住している回答者は多かったのですが、こちらについては一定の回答を頂いております。

○**座長** 先程の賛成、反対、その他の数について、賛成とその他を合わせるという考えがよく分からなかったのですが、教えて下さい。

○**事務局** その他が特にご意見が無かったので、反対はしていないという意見と事務局側で判断して、賛成に入れるとどうなるのか比較してみたところです。反対意見ではありませんが、賛成意見でもないので、比較の方法が妥当かは事務局としても結論が出ていないところです。

○**委員** 北案と西案で、校庭の稼働状況はどちらが高いのかを考えながら拝見しています。従来なら陽当たりが良いと稼働できるという認識ですが、今は熱中症対策で校庭の使用制限がかなり多いと。実際小学校に問い合わせたところ、今年はどうくらい校庭の使用制限をしたか、また、昼休み、体育等の全ての時間の何割使用制限したかというところ、(二学期が始まった8/24から9/16までの間では)3割から4割の時間帯制限をかけていて、外に出せなかったという回答でした。

使用制限を少なくするには西校舎の方が良いのかもしれないけれども、雨が降って水捌けが悪く使用制限しなくてはいけないということもあると思います。

実際の現場では、どういう実態があるのか参考に伺いたいのですが、どなたかお答えいただける方いらっしゃいますか。

○**副座長** 日影や風があった方が良いですが、それは木の植え方等でクリアできるのかなと思っています。グラウンドとして一番良いのは南側です。ただ、日影をどう作るかも大切だと思います。

○**委員** 日影の作り方って、どれくらいの認識を持っていたら良いですか。

○**副座長** 運動というよりも、休憩のための木陰が必要だと思います。多分、北案でも西案でも、夏場日中の校庭の暑さはそんなに変わらないと思います。

○**委員** 稼働状況はあまり変わらないという認識ですか。

○**副座長** そうですね。暑さに関しては、木陰や冷房が入る休憩場所等で対策をとれることもあります。それよりも、西案は北案に比べて、グラウンドがぬかるんで使えなくなる可能性があるかもしれないので、冬場の稼働率は多少下がるかもしれません。

○**委員** 暑さによる稼働率、西案と北案ではそう変わりはない。

○**副座長** 私の経験上では、そんなに変わらないと思います。しかし、これからは今までに経験のないような気候になる場合もあるかもしれませんが。

○**委員** 分かりました、ありがとうございます。

○**委員** 校庭について副座長にお聞きしたいのですが、一中は大会の会場になっていることが多いと思うのですが、この広さ、向き等は大会の会場校になり得る条件が満たされているのですか。

○**副座長** 一中は現在も会場になっていますが、種目によっては小さい方です。

○委員 建替えによって、一中が会場校から外れ、より良い環境の学所になるかもしれないと考えてもよろしいですね。

○副座長 この北案、西案でしたら会場になる可能性はあると思います。大体会場で一番大きい要因は、暑いか暑くないかではなく、グラウンドの状況が大事です。

○委員 前回、委員から、既存の直線走路は100mを思いきり走れないという意見があったかと思うのですが、この配置案になった場合、その辺はどの程度となりますか。

○副座長 一応、斜めに100mは取れる形ですね。今はトラックが200mありますが、150mになってしまう方が支障をきたすかもしれません。今も直線走路は斜めに取っています。北側の日照権の関係で、どうしても校庭は小さめになってしまうのかなと思っています。

○事務局 一点説明が漏れていた所がありましたので、説明させていただきます。資料3をご覧ください。

前回、委員から100m走りきれないというお話を頂いた関係で、直線走路（50m以上必要）という欄を追記しました。北案は走り抜け80m、西案も走り抜け80mということで、やはり100m取ると壁に当たってしまうので、安全を見ると80mというところです。

昨年度策定した、武蔵野市学校施設整備基本計画では、記載のとおり校庭の仕様は、共通として50m以上の直線走路を確保する。トラックについては、中学校は150m以上確保する。これは必須として作っています。今回第一中学校については、それなりに校庭が確保できましたので、この想定よりも長い距離の運動スペースが確保できたという結果です。

○座長 一中だけではなく、全体がそうだという状況ですね。どこか、200m取れそうな学校はありますか。

○事務局 中々200m取るのは厳しいですが、一案に絞り込んだ後、来年度基本設計に入りますので、その中で具体的な配置等が決まってくれば、場合によってはもう少し大きなトラックが取れる可能性はあります。

○委員 小学校だとこれ以上のスペースがなきゃいけないだとか、中学だとトラックは200m以上だとか、決まりがあるかと思いますが、国はどのような風になっていますか。

○座長 一般的に知っている範囲では、都心の学校は、ない所もありますね。

○委員 確かに、校庭がない学校もありましたね。

○副座長 私が先程言ったのは、思いきり走れるという意味では200mが良いということで、無ければ駄目ということではないです。

○委員 今現在は直線で何m、トラックはどのくらいというのを教えていただけますか。

○座長 トラックは200mだったのですが、去年直線は、斜めでやったと思います。

○委員 子ども達がこれから増えてくるという話も聞いておりますし、運動不足の子ども達も多いので、十分に校庭を使わせてあげたいという点からすると、狭くなるのは違和感がある気がします。

○事務局 「武蔵野市学校施設整備基本計画」21 ページをご覧ください。普通教室のレイアウトシミュレーションというものがあると思うのですが、記載の通り点線が今の教室です。これから作る教室については、中学校については約 76 m²前後を目標に教室を作ります。なぜこういう大きさにしているかは、今グループ学習等がかなり多く、机を動かしたりするので、一定の広さがないと授業に支障があるということで、教室も広がっています。

生徒も増えているということで、建物はどうしても大きくなり、その関係で校庭については多少小さくなってしまいます。ただ、必要最低限の校庭は確保しなくてはいけないと思っていますので、なるべく広く校庭を確保しながら、子ども達の運動能力を下げないということを目指しています。

○委員 この場で申し訳ありませんが、運動能力について前回の私の発言への訂正と、教室のレイアウトシミュレーションについての質問の二点です。

前回、武蔵野市の子ども達の運動能力について発言しましたが、一点大きな誤りがありました。持久走とシャトルランの数値を、高い方と低い方を間違えてカウントしてしまって、それによって数値の読み間違いが発生しています。持久力については、武蔵野市の子ども達は非常に高い。周辺の四市区と比べても、全項目で高いです。なので、全体が運動能力低いとは勿論言えませんが、一点凄く大きな課題があります。教育委員会でもまとめられていらっしゃると思いますが、握力が全学年の全男女で、周りの市よりも、極めて低いです。握力っていうのは、ただ手の問題ではありません。体全体の筋力のバロメーターと言われているので、確かに全体としては大きな課題はあるとは認識できないかもしれないけれども、筋肉、全身の筋力については、恐らく武蔵野市の課題があると思います。これは訂正させていただけたらと思います。

教室レイアウトシミュレーションの質問ですが、前回の懇談会から政権が変わりまして、少人数学級にしていくという流れが早まるのではないかと報道されています。このレイアウトだと教室数が足りなくなるのではないかと懸念がありますが、校舎の全体の大きさ、教室の割振り等をどのように調整しようとしているのかを伺えたらと思います。

○事務局 少人数学級につきましては、事務局も国の動向をしっかりと見ていきたいと思っています。今回、第一中学校については、2030 年の児童数ピークに合わせて校舎の大きさを決めています。ピークを過ぎると生徒は減ってきますので、その中で対応できるのではないかと考えています。

それとコロナ対策という面では、廊下と教室の間仕切り壁について、可動式のものを検討します。確かにこれを見ると、コロナ禍においては非常に厳しいのかなという気がしますので、可動式で廊下と一体にして、授業をする等を考えています。

あとは、換気方法です。短い休み時間の中で、いかに教室内の空気を入れ替えるかという研究をしております。その結果が出たらまた皆様にご報告していきたいと思っています。

○座長 もし 35 人学級になると、もう 1 クラス増える状況ですね。オープンスペースを

一つの教室みたいにしてやっていく感じですか。

○事務局 少人数学級がいつスタートするかが分からないので、事務局としても困っている所ではありますが、ピークより前に始まった場合は教室数が足りなくなる可能性はあります。ただ、今回共用部分も40%と、面積としてはかなりゆったりしたものと考えていますので、その中で対応していきたいと思います。

○座長 この後皆様から、配置案のどれが良いかというお話を頂きたいと思っています。

○委員 どれが良いか一つには絞れないのですが、消去法で考えてみました。近隣住民の意見とほぼ同じで、北案か西案かという思いはしておりました。北ですと、やはり誰にとっても違和感が無い。生徒と地域の動線などを考えると、同じ方角からなので、西案というのも有りなのかなとも思いました。ただ、西案は北側マンションの方の反対意見がかなり多いような気がするので、そちらのご理解をいただくことがどうかと思いました。プールの位置も、何となく気になるかなというところです。北案か西案かといえば同じ場所にあるので、今のところ選ぶ基準には私の中ではなっていないのですが。

○委員 まず、南案、東案は無いということなので、北案、西案で私の意見ですが、率直に言えば北案だと思います。

周りの環境に対して、特に難しいことは無く、現状どおりということと、音楽ホールが残るので、その音楽ホールとの動線も含めてとても良いなと思いました。

また東側に校門も作っていただけるのであれば、その東側からの校門と、もし西校舎にしまうと、どこを生徒が通るのだろうということもありますので。

井之頭小学校の開かれた学校づくり協議会にも出席していきまして、先日そちらでも皆さんに聞きました。先生からすれば、安全が一番大事だということをおっしゃっていました。仮設校舎を小学生対応で使うというのは、安全に関してはとても良いことなのかなと思います。特に開かれた学校づくり協議会で決を採った訳ではないのですが、そういう意見として私は話をさせていただいたという経緯がありましたので、北校舎案が良いのかなと思いました。それと、新プールと新テニスコートにつきましては、先ほど、騒音とか色々ありましたので、これはまた後日と先程伺ったので、それも考えてのことです。

○委員 私は前回から、北案が一番違和感なく良いのかなと思っています。今回資料、近隣アンケートからしても、私は北案が良いかなと思います。

前回、仮設校舎を造るコストを伺った時に、そんなにお金が掛かるなら違う所でも良いのかなと思ったりもしましたが、中学生だけでなく小学校も使うことを考えたら、長い目で見ても北校舎にすれば、皆が丸く上手くいくのかなと思いました。近隣からも苦情も無いでしょうし、良いと思います。

プールが、やはり外から見えてしまうのは気になりますけれど、シートを掛けたりして、テニスコートも塀みたいなもので音が反響しないようになど、今色々な物があると思いますので、そういう対応をしていただけたら良いのかなと思います。

○委員 北案が良いと思います。私がちょうど中学一年の時には、北校舎案の仮校舎部分

が木造で南に寄せられた所で1年学んで、北側に新しいのが出来た時に引っ越しました。その時に、体育館の位置とプールの位置もこういう位置で、テニスコートは無かったです。これはもっと校舎が伸びています。テニスコートが僕らの時に、独立していたのかどうか分かりませんが、プールとテニスコートをこの図案で見るとこのテニスコートは二面取っていますか。二面取らなければいけない条件があるのですか。

○事務局 条件は無いのですが、基本的な考え方として今ある施設は残すということがベースにあります。今も二面ありますし、地域開放でかなり人気の高い施設ですし、当然部活動もありますので、二面と考えています。

○委員 分かりました。北案を支持します。

○委員 北案か西案かということなので、私は北案ですかね。西案の階層の建て方が4、3、2階というのが、日照の問題があっただけこうなっていると思いますが、複雑な構造になるのではないかなと心配です。シンプルに、北案の4階、3階の方が良いのかなと思います。

○委員 私は北案を支持します。校庭に雪が積もった時に、今回体育館は低いので、より西日が当たるなということが一つです。

もう一つは、地震等の大災害で火災が発生した際、吉祥寺の方からの火砕流を校庭の部分で止められます。もしこれが西案だと、火災が近くなり、延焼する可能性がある。民家からの延焼が避けられるということでは一番正しいかなと思います。

もう一つ、仮設は費用が掛かるかもしれませんが、結局5年から6年使うわけですよ。もしできるなら、それを別の所で使えないだろうか。全部は無理でも、ある程度の物は使えるよう考慮した方が良いのではないかと考えます。

○委員 私も皆様の意見とほとんど同じですけど、北案です。近隣の影響、総合的に考えますと、北案かなと思いました。校舎も今まで馴染んでいるスタイルの方が、一番近隣の影響も少ないと思いますので、北案に賛成です。

○委員 私も、北校舎案を支持しています。他の委員の方もおっしゃるように、近隣への配慮を考えると一番受け入れやすいのが北案かと思います。音楽室との動線も考えると一番スムーズかなというのがあります。

私の息子は今四歳で、実際に井之頭小学校に通っている最中に、多分仮設校舎に通う可能性がとても大きいので、小学生が使えるような形の物であった方が、私としては嬉しいと思います。

○委員 前は、4案からという選び方でしたが、今回は北案か西案どちらが良いかということですけど、前回仮設校舎について、予算を市に質問しました。やはり物を造る時には予算が潤沢にあったとしても、そこが一つの基本だと思っていたので、そういう質問をしました。予算が無限にあるのであれば、一番北案が良いとは思いますが、これが全般的に仮設校舎を建てるとなった場合、それで良いのかなと思ってしまいます。

○委員 北案か西案と絞られた中では、北案は工事期間中も体育館が使用できなくなる懸

念がありますが、全体的な動線でいくと北案なのかなと思います。

一点、今更新しいことを言うので恐縮ですけど、北案にした場合、西案よりも校庭が狭くなるのがあって、小学生も共存する時期があると考えた時に、全国的には校舎の改築って、この中で議論されていないポイントが一点あると思います。それは、プールの廃止です。全国的にはプール設備を廃止して、コストも掛かりますし、維持費も掛かりますし、働き方改革で、夏休み中稼働する必要が無くなってくると。

プール廃止、統合したり、市営のプールを使ったり、民間に委託したりという流れがある中で、市の予算が潤沢だという前提があるとは思いますが、プールを本当に維持するのかという議論もしながら、この校庭をもう少し広げられないかという視点を持つのも、良いのではないかなと。一回それを検討するのはどうかと思います。

○事務局 プールの件ですが、昨年度の学武蔵野市校施設整備基本計画の中で話は出ました。

全国的な流れはおっしゃる通りで、学校にプールは造らないという自治体もあることは認識しており、昨年度の議論の中では、共有するという話は出ました。ただ、どうやって移動するのか、移動時間はどう確保するのか。現在の子供達達の授業時間はかなり多く、5時間目、6時間目までもう目一杯やっている中で、とても移動時間は確保出来ないというお話もあり、昨年度は各校に設置する方針を出しています。

○座長 年月が経つと色々と、議論が進む可能性はありますね。

○委員 東西南北のそれぞれにある住居等からの関係を考えると、やはり北案か西案か、このどちらかになるだろうなという気がします。

確かに西案は、体育館とグラウンドが離れるということが、使い勝手が悪いような気がします。ただ、西案の方がデザイン的に新しくなるので面白いかなという気はします。

使い勝手という意味で言えば、あまり変わりはないけど、北案が一番良いのかもしれませんが。それから西案の場合には、北にあるマンションとの関係が、音等の影響で確かに問題になるかもしれませんね。

○副座長 職員からは、北案が出てましたね。

○座長 私もですかね。今副座長が言っていましたけれども、職員からは、北案が出ました。理由としては南からの光が当たる。授業中に左から光が当たって文字を書ける状況が基本的に良いのではないかと話が出ました。職員に聞く中では、配置よりもプールが屋上にならないかとかいう話がどうしても出てしまいましたけれども、もう決まっているから、と返しています。

今聞かせていただく中で、私も個人的には北案が良いだろうなと思っています。西案は、面白さ、目新しさがあるなど、確かにそのとおりで、そういう魅力はあるなと思います。

○事務局 何点か質問もございましたので、少しお話をさせていただきます。

まず、仮設校舎の再利用の件です。仮設校舎については、基礎の部分は鉄筋コンクリー

ト造のため再利用できませんが、リースを想定しておりますので、上屋の部分はリース会社が再利用するというので、環境問題については配慮しているところです。

次に、これから何校も建替える中で予算は大丈夫なのかという心配を頂きました。確かに、20年から24年かけて、16校建替えを続けていきます。昨年度の武蔵野市学校施設整備基本計画では、できる限り仮設校舎を作らないという大方針は立てたのですが、生徒達の安全が第一という所もありますので、仮設でない安全ではないということではないのですが、近隣関係、南側校庭ということで、皆さん北案が良いというお話を頂きましたので、承知致しました。

仮設校舎の件は繰り返しになりますが、一中と五中については特殊な状況で、五小と井之頭小は敷地が狭く、仮設を造って建替えするとすると、運動スペースが全く取れません。苦肉の策で、五小、井之頭小が工事している間は中学校に通っていただくのが最善ではないかということでこの形を選びましたので、小・中が仮設校舎を利用するに当たって、一番安全な手法ということで考えていきたいと思えます。

先程の少人数学級の件で、補足させていただきます。今回2030年の第一中学校のクラス数については人口推計で17クラスと出ていますが、若干下振れしているようです。もう少し減ってくる可能性がありますので、学校規模については適正規模で造っていきます。

○**座長** 議事2についてはここまでとします。事務局に確認ですが、意見を頂いた配置案ですけど、今後どのように決まっていくのか、お願いします。

○**事務局** 本日、皆様からご意見を頂きまして、改築懇談会の意向は承知致しました。本日頂いた意見を事務局で持ち帰り、更に市の方で再検討、議論をさせていただき、市で責任を持って一案に絞り込みたいと思えます。

一案に絞り込んだものを、改築基本計画素案（案）として、第5回の改築懇談会で提示させていただきたいと思えます。

◎報告事項（1） 第一中学校改築基本計画素案への意見募集について

○**座長** では次に報告事項1、第一中学校改築基本計画素案への意見募集について、事務局より、報告をお願いします。

○**事務局** 資料7をご覧ください。

第5回の改築懇談会で、基本計画素案（案）を提示しますが、その素案に対する意見募集を予定しております。

対象は、第一中学校の学区内在住者、第一中学校の教職員、第一小学校・井之頭小学校の教職員に意見を頂きたいと思えます。期間は11月13日から11月27日を予定しています。

今回この素案を元に説明会をさせていただく予定です。

3回予定していますが、11月14日土曜日、10時半から11時半、第一小学校体育館。

11月22日曜日、10時半から11時半、武蔵野芸能劇場小ホール。11月24日火曜日の18時30分から19時30分、第一中学校体育館で、3回とも内容は同じですので、ご都合の良い時に来ていただこうと思います。

○委員 今後の意見の集め方はどういう形で、また違う意見募集もあるのですか。

○事務局 素案以降の意見募集ということですか。基本設計に入ってからということですか。素案に対する意見は頂きまして、懇談会で素案に対する我々の回答、考え方をまたご報告します。

○委員 素案について意見募集をして、その後はもう無いのですか。

○事務局 この武蔵野市立第一中学校改築基本計画に対しては、これで最後になります。来年度以降の基本設計・実施設計ではまた改築懇談会がありますので、そこでは意見を頂く予定です。

近隣の皆様、住民の皆様については、市のまちづくり条例の中で、説明会等義務付けがありますので、その中で情報提供していきたいと思っています。

○委員 各学校で設計が進んでいきますが、一中独自のものを、せっかくなので意見募集をしていただけないかなと思います。例えば、使っていない天文台、天体観測室がありますが、そういう物を残しておくとか。一中ならではのシンボリックなものは何か必要でしょうかとか、意見募集をしていただけないですか。生徒にも、広く一般にも、一中ならではの校舎ができれば良いなというのが、私の勝手な思いです。

○事務局 今回この対象に書かせていただいている第一中学区内在住者から、シンボリックなもの、これを残して欲しいという意見は、素案説明会の中で頂く訳にはいかないですか。別枠は今考えていないのですが。

○委員 最後であれば、この素案に対する意見募集の中で、自由欄を作っていただくとか。

○事務局 素案に対する意見募集は、特段フォーマットがありませんので、自由に意見を出していただいて構いませんので、何かご要望があればそれに書いていただければと思います。全部が全部反映できるかどうかは別の話になりますが、ご意見としては承りたいと思っています。

○座長 報告事項については、ここまでとします。

私から一ついいですか。言い訳みたいになってしまいますけど、事務局には話しましたが、基本計画を見る限り、工事は令和5年、令和6年、この2年で行うと思っていたもので、現在校生については特に影響があるという話はしていません。ところが、実際は、本校舎の工事はここかもしれないですけど、他の工事は早まって、今の一年生は、卒業式を体育館で行えないかもしれない、という可能性があります。

その辺りについては、事務局からも保護者に対して説明をしていただくという方向で、今調整していいいます。私ももちろん説明しますが、素人が読みきれなかったと反省しています。

○事務局 「武蔵野市学校施設整備基本計画」36ページの表をご覧くださいと思います。

学校施設整備基本計画については、あくまでも全体計画なので、一校ずつ個別に精査をしているわけではなく、基本的に一つの学校の建替えに要する期間は5年を想定していました。それを振り分けていくと、工事については2年間でこの学校施設整備基本計画を策定しました。この時点と状況が変わった点が二点あります。

まず一点がアスベストです。アスベスト調査の結果、五中も一中もレベル1という、最も飛散しやすい物が出ました。何もしなければ全く飛ばないので、心配いただくなくて大丈夫ですが、解体時に何も考えずに壊すと飛散します。事前にアスベスト除去作業が必要になりますので、解体工事が1年くらい掛かる予定です。

もう一点が働き方改革です。土建業は天候に左右される関係で、これまで完全週休二日制では無かったのですが、働き方改革で完全週休二日制が出てきました。この二点が、若干工期が伸びる要因です。

先程少しお話ししましたが、もしこのまま北案ですと、令和4年には仮設校舎に着手しなければならないので、第一中学校については、令和4年から工事がずっと続いていくということになりますので、この計画だけで見ると、かなり工事が早まるという指摘を頂くとおもいます。説明会等で丁寧に説明させていただきたいとおもいます。

○座長 一中、五中に関してはもう仕方が無いとおもいますが、今後の学校に関しては、少し早めにお知らせいただくと、各校長も新入生説明会等で丁寧に説明して対応できるとおもいますので、お願いします。

○事務局 最後に次回懇談会についてです。次回は10月26日月曜日、午後6時30分から、こちらの会場で行います。

○座長 本日は色々なご意見を頂きまして、本当にありがとうございました。以上で、本日の懇談会を終了致します。どうもお疲れ様でした。

○事務局 ありがとうございました。

午後 8時30分閉会